



新しい年を迎えました。この1年が健康で笑顔
がいっぱいの年になりますように！

今回はお正月の飾り物の「羽子板」と「破魔
弓」のお話です。

《羽子板・破魔弓の意味》

お正月の羽根つきは、江戸の昔から女の子の遊びです。そして羽子板は
女の赤ちゃんの無病息災のお守りの意味を持っています。羽子板でつく羽
の玉、あの黒くて堅い玉は“むくろじ”という大木の種ですが、これは漢
字で「無患子」と書きます。「子どもが患わない」という意味が込められ
ています。

また、羽のとぶ様子がトンボに似ていることから子どもの病気の原因と
なる蚊に刺されないよう、蚊の天敵であるトンボに見立てて、正月に羽根
突きをするようになったということです。

破魔弓は読んで字のごとく、魔除け、厄払いのお守りです。男の子の元
気な成長を願いお正月の縁起の祝い物となっています。また神社の破魔弓
や、棟上げの際屋根に立てる破魔弓も弓矢のもつ魔除けの力を信じるこ
とから生まれた習慣です。

羽子板も破魔弓も、ともに古来からの行事であった新春の年占いや厄払
いとその始まりです。男の子が弓矢で的を射て年占いをしたのが、のちに
破魔弓になり、女の子がお正月に羽をつけて、その年の厄払いをしたのが
のちに美しい羽子板を生み出したのです。

昔も今も子ども達の健やかな成長を
願う親心に変わりはありませんね。

寒さに負けず、元気に1年をスタート
しましょう！

